

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部麻酔科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 27 年〇月 福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 講座主任教授 村川雅洋

【研究課題名】インジゴカルミンの静注が経皮的トータルヘモグロビン濃度に及ぼす影響について（第 2 報）

【研究期間】 平成 27 年 12 月～平成 30 年 3 月

【研究の意義・目的】

インジゴカルミンは、静注後の尿中排泄が速やかであり、手術時に尿管損傷の有無を確認するため、しばしば用いられています。一方、Masimo 社製の Radical-7 _{Pulse CO-Oximeter} で測定される経皮的総ヘモグロビン値 (SpHb) は、7 波長以上の光を活用して連続測定され、その有用性については、多くの報告があります。インジゴカルミンやメチレンブルー、インドシアニングリーンが経皮的酸素飽和度 (SpO₂) に影響を及ぼすという報告はあるものの、それらの色素により SpHb がどのような影響を受けるのかということについての報告はありませんでした。われわれは、インジゴカルミン静注後に、SpHb がどのような影響を受けるのかをすでに論文で発表しました。前回使用したプローブは Revision K でしたが、現在では最新の Revision L が使用されています。そこで、Revision L のプローブでインジゴカルミン静注後に、SpHb がどのような影響を受けるのか、後ろ向きに検討します。

【研究の方法】

対象は 2015 年 5 月から 10 月までに、全身麻酔で婦人科手術を受けた予定手術患者のうち、SpHb をモニターし、術中に 0.4% インジゴカルミン 5ml を静注した症例としました。術中に 0.4% インジゴカルミン 5ml を静注し、その後の SpHb の変化を後ろ向きに検討します。なお、SpHb の低下の判断基準は、SpHb が前値より 10% 以上低下した場合と定義しました。調査項目は、年齢、身長、体重、インジゴカルミン投与前後における SpHb と perfusion index (PI) です。

【研究組織、研究機関名】

	(所属) 麻酔科学講座 (職) 教授 (氏名) 村川雅洋
主任研究者	(所属) 麻酔科学講座 (職) 准教授 (氏名) 五十洲剛
研究分担者	(所属) 麻酔科学講座 (職) 教授 (氏名) 黒澤 伸
	(所属) 麻酔科学講座 (職) 准教授 (氏名) 池上之浩
	(所属) 麻酔科学講座 (職) 助手 (氏名) 今泉 剛

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 担当 五十洲剛

電話:024-547-1342 FAX: 024-548-0828

E-mail:masui@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp